

平成24年2月15日

「新図書館等の基本設計に関する説明会」での
ご意見・ご質問に対する事務局の考え方について

日時・場所	高知会場 : 平成24年1月20日(金) 午後6時30分～ 高知市役所たかじょう庁舎 6階大会議室 (高知市鷹匠町2丁目1-43)							
	四万十会場 : 平成24年1月21日(土) 午後2時～ 四万十市立文化センター 1階大会議室 (四万十市中村桜町2-1)							
	安芸会場 : 平成24年1月22日(日) 午後2時～ 安芸商工会館 2階大ホール (安芸市本町3丁目11-5)							
参加者数	高知会場	88人	四万十会場	21人	安芸会場	16人	計	125人
発言	高知会場	14人	四万十会場	6人	安芸会場	6人	計	26人
意見・質問票の提出	高知会場	10人	四万十会場	4人	安芸会場	4人	計	18人

○高知会場

NO.	大分類	中分類	意見・質問の概要	事務局の考え方
1	設計	全体	・文化の殿堂であるべき図書館として、外観が不合格。100年先に文化遺産として耐え得る建物であるべき。	・外観については様々なご意見がありますが、県民・市民の皆様に永く愛されるような建物にしたいと考えています。
2	設計	全体	・南側と西側を重視する設計のコンセプトについて聞きたい。	・建物の四方すべてを正面と考えて設計しています。メインエントランスは、東西に抜ける遊歩道と多目的広場が交わり、人々のにぎわう場所（建物の南西部）に設けることとしています。
3	設計	全体	・ランドマークの位置づけと言っているが、そういう中身になっているかどうか疑問。	・ランドマークにふさわしいデザインや機能を備えるようにしていきます。
4	設計	全体	・追手筋側を重視し、追手筋側から見て入りたいと思うデザインにしてほしい。	・建物の四方すべてを正面と考えてデザインを検討していますが、追手筋側から見る顔づくりについても、検討していきたいと考えています。
5	設計	全体	・追手筋からメインエントランスが見えないのではないかな。	・追手筋からも分かりやすいようなサインを考えていきます。
6	設計	全体	・追手筋側から見て、わくわくするような図書館になるよう、実施設計で考えてほしい。	・追手筋側の外観は重要な課題であると認識しており、引き続き、検討していきたいと考えています。
7	設計	全体	・追手筋側がメインだというような意見もあったが、普段は誰も通っていない。よさこいと日曜市の時だけだ。	・新しい施設と遊歩道・多目的広場が完成しますと、周辺の人の流れが大きく変わることも予想されますので、建物の四方すべてを正面と考えて整備していきます。
8	設計	全体	・外観のインパクトのあるデザインについては、ぜひ実現の方向で。	・追手筋のまちなみや周辺の教育・文化施設と調和した形状・色彩等となるように工夫していきます。
9	設計	全体	・あの場所に33mもの高さの建物を建てることは反対。	・4階以上は北面を南側へ引いた（セットバックした）形状とするなど、周辺の景観との調和を図り、圧迫感を与えないデザインになるように工夫していきます。
10	設計	全体	・高齢者や障害者に優しい図書館であるべきなので、北側にエスカレーターがないのはどうかと思う。	・費用と管理の面から、北側（追手筋側）にはエスカレーターではなく、階段を設置することとしています。
11	設計	全体	・追手筋側の2階への階段をエスカレーターに。屋根付きで自動センサー付きのエスカレーターを他県でよく見かけたことがある。	
12	設計	全体	・エスカレーターは、科学館まで設置してほしい。	・エスカレーターは、費用や管理の面から3階までとしており、5階のこども科学館（仮称）へは、エレベーターや階段をご利用いただきたいと考えています。
13	設計	全体	・合築で整備すれば安くなるとの観点で検討されてきたようだが、新点字図書館、こども科学館、プラネタリウムと施設が増えて、建設費も高額になっているのではないかな。	・県立図書館と市民図書館本館をそれぞれ単独で整備する場合と合築で整備する場合の差額の範囲内で、点字図書館とこども科学館（仮称）（プラネタリウムを含む）を併せて整備することとしています。
14	設計	全体	・津波避難ビルに指定されるはず。ガラスの壁面が多いことは危険なように思うが、どう考えているのか。	・津波避難ビルに指定される予定です。 ・免震機能を備えた建物として整備しますが、外壁部分の安全性についても、十分に検討していきます。
15	設計	全体	・東西南北の遊歩道の幅員は何メートルぐらいなのか。車両の通行は可か不可か。また、イベント時やカフェへの搬入などはどうするのか。	・遊歩道の幅員は5m程度を想定しています。 ・一般車両の通行は想定していませんが、イベントや業務関係の車両の通行は必要であると考えています。
16	設計	全体	・駐輪場からエントランスロビーの入口までが遠い。南側の遊歩道側にも入口を作ってはどうか。	・エントランスロビーの南東の角の南側遊歩道と接する部分にも、出入口を設けることとしています。 ・南側駐輪場の自転車用の出入口は東側のみになりますが、人の出入口は、駐輪場の南西の角にも設けることとしています。

NO.	大分類	中分類	意見・質問の概要	事務局の考え方
17	設計	全体	・敷地についての検討は慎重にすべき。小学校敷地全体を使用しないのはなぜか。西側は何に使うのか。	・西側敷地は、高知市の中心市街地活性化等に活用するため、現在、検討委員会（部会）を設置し、具体的な利用計画について検討しています。
18	設計	全体	・正面入口に立派な門をつくってほしい。それが駄目ならば、大きな木を植えるか並木道をつくってほしい。	・門については、多目的広場や遊歩道も含め、敷地全体をオープンに活用するという観点から、設置は想定していません。 ・植栽については、多目的広場や遊歩道の活用方法と併せて検討していきます。
19	設計	全体	・追手前小学校は高知県の小学校の発祥の地なので、学校がなくなっても、そうしたことが認識できるような形にしてほしい。	・多目的広場にメモリアルスペースを設け、追手前小学校の碑や空襲を生き残ったソテツなどを設置するようにしたいと考えています。
20	設計	全体	・M〇階と書かれた階層のイメージが分かりづらい。	・M階は、各階の中間に設ける階を示しています。例えば、M3階ですと、2階の高い天井高を利用して2層化した書庫の上層の部分になります。
21	設計	駐車場	・中の橋通り側の車の出入りは左折のみということで決定しているのか。	・関係機関と協議中の段階ですが、中の橋通りからの進入、退出ともに左折のみとする予定です。
22	設計	駐車場	・駐車場は不要。1階の半分が駐車場になっており、もったいない。商店街利用者のための無料駐車場になるのではないのか。	・駐車場は、「不要」「必要」「100台以上必要」など、様々なご意見がある中で、来館者の利便性、他県の図書館の状況、周辺の民間駐車場、敷地などを勘案し、100台分を整備することとしています。 ・管理運営については、複合施設の利用者の利便性を考慮して、適切な運用方法を検討していきます。
23	設計	駐車場	・地下機械式駐車場は、整備費9億8千万円、1台あたり1,600万円と高額で、水害対策にも問題があり、不安。周辺の駐車場を活用すべき。	・9億8千万円は、1階ピロティ部分の40台分も含めた試算です。 ・駐車場全体の台数については、公共交通機関の利用が難しい方や遠方から来られる方の利便性などを考慮して、100台分を整備を予定しています。
24	設計	駐車場	・地下機械式駐車場は、維持費もかかり、長期的には機械自体の入れ替えで巨額の経費が必要。景観的にもよくないので不要。そのお金を科学館の予算として増やしてほしい。	・駐車場全体の台数については、公共交通機関の利用が難しい方や遠方から来られる方の利便性などを考慮して、100台分を整備を予定しています。 ・機械式駐車場については、長期的なメンテナンス（機材の入替等）の費用も含め、一定のコストはかかりますが、限られた敷地を有効活用できるメリットがあり、総合的な観点から設置することとしています。 ・景観に関しては、地上部分は入庫のブースのみとなりますので、周辺との調和にも十分に配慮しながら、整備していきます。 ・こども科学館（仮称）の整備に必要な予算は、別途確保することとしています。
25	設計	駐車場	・地震や津波の心配のある地域に、多額の経費をかけて地下駐車場をつくることは反対。1階駐車場も広すぎてもったいない。	・機械式駐車場については、止水板の設置などにより、津波対策が可能であると考えています。 ・一定のコストはかかりますが、限られた敷地を有効活用できるメリットがあり、総合的な観点から設置することとしています。 ・駐車場全体の台数については、100台分を整備を予定しています。
26	設計	駐車場	・津波が予想されるのに地下機械式駐車場をなぜつくるのか。公共交通再生という面からも、矛盾していないか。	・高知市の中心市街地に位置しており、公共交通機関の利用も見込めますが、県内全域を対象とする施設であることから、特に、遠方から来られる方々の利便性などを考慮すると、交通費を軽減するためにも、一定規模の駐車場が必要であると考えています。
27	設計	図書館	・図書館の中身や活動を議論せず、箱の形（外観等）を決めては、デッドスペースが多くなるように思う。内容が議論されているのであれば、その内容も聞きたい。	・新図書館の基本コンセプト、サービスや運営の考え方などは、新図書館等複合施設整備基本計画として平成23年7月に決定しており、この基本計画に基づいて、基本設計に取り組んでいます。
28	設計	図書館	・開架スペースが2階と3階に分かれており、情報を収集しにくいのではないのか。	・資料の探しやすさは重要な要素であり、書架の配置やサインなどを工夫していきます。

NO.	大分類	中分類	意見・質問の概要	事務局の考え方
29	設計	図書館	・平面図からすると、古文書などの資料を落ち着いて調べられる環境にはならないと考える。	・3階には、高知県関係資料コーナーや貴重書閲覧室を設け、その周辺には研究用の個室も複数用意することとしていますので、落ち着いた環境の中でご利用いただけると考えています。
30	設計	図書館	・（新図書館の設計の中で）子どもを中心に考えたものがあるのか。	・児童コーナーを設置するとともに、子どもたちへの本の読み聞かせなどに利用できる「お話コーナー」や図書館資料を使った学習に活用できる「調べ学習コーナー」を整備する予定です。 ・児童コーナーの近くには、授乳室や子ども用のトイレも配置することとしています。 ・さらに、市町村立図書館等の職員や子ども読書活動の推進に携わる方々に活用していただけるように、児童図書研究コーナーや児童図書選定支援コーナーなども設けるようにしています。
31	設計	図書館	・開架スペースの席数が少なく感じる。4階に学習室を設けるよりも、開架スペースの席を増やす方が防犯面でも安心ではないか。	・2階と3階の開架スペースには、合わせて400席以上の閲覧席を設けることとしており、必要な座席数は確保できるものと考えています。 ・4階の学習室については、集中して読書や学習をしたい方にご利用いただけるスペースとして計画しています。 ・施設内の防犯対策については、重要な課題であると認識しており、学習室を含め、全館的な対応策を検討しています。
32	設計	図書館	・県立図書館の役割として市町村支援があるが、市町村立図書館の職員が選書を行うスペースはどこにあるのか。	・現在のところ、2階書庫内の南側半分を想定しています。
33	設計	図書館	・4階のホールを恒常的に使用できる映画館にしてはどうか。ホールがきちんと稼働するか不安である。	・4階に設けるホールは、200名程度の収容能力を備え、新図書館やこども科学館（仮称）が主催する講演会や集会、映画会の会場として使用するなど、多面的に運用することを想定しています。 ・可能な範囲で一般への貸出しも想定しています。 ・高知市の中心市街地に立地していますので、多くの方々にご利用いただけるものと考えています。
34	設計	図書館	・県市合築の特徴はどこに表れているのか。	・合築により、国内有数の規模になり、蔵書が大幅に充実しますし、雑誌や児童書から課題解決に資する専門図書まで、様々な資料が県市共通のカードでご利用いただけるようになります。
35	設計	科学館	・科学館の面積が狭い。5階の北面をこれほど南側へ引く必要がないのではないか。	・こども科学館（仮称）の面積は、現在の子ども科学図書館の専用面積約500㎡を少なくとも倍の1,000㎡に拡大したいというところから議論を始め、その後の基本構想検討委員会での議論をもとに、専用面積を1,500㎡に拡大したという経過があります。 ・5階の北面については、日影規制の関係上、南側へ引いた（セットバックした）形状としています。
36	設計	科学館	・県内の自然史科学関係施設のセンター的な役割を果たせるよう、情報コーナーを作ってほしい。	・大きな方向としては、センター的な存在となることを目指していきたいと思いますが、まずは、県内の関係施設と連携して取り組んでいくことになると考えています。 ・県内の科学系施設の情報を検索できる展示も整備したいと考えています。
37	設計	科学館	・建物がガラス張りでは、展示物の配置が難しいのではないか。5階はガラス張りをやめてはどうか。	・こども科学館（仮称）の壁面については、壁を中心に、必要な個所にだけガラス（窓）を入れていく形状を考えています。
38	設計	科学館	・ほこりをかぶって、誰も見る人がいないというような展示にしないでほしい。	・スペースの制約もあり、展示アイテムの数は限られますが、その分、十分にご利用いただけるものにしていきたいと考えています。

NO.	大分類	中分類	意見・質問の概要	事務局の考え方
39	設計	科学館	<ul style="list-style-type: none"> ・科学館は、館に集う人々や子どもの日常的な活動を基本とし、展示についても、そのような活動とつながる手作りのなものとすべき。また、そういう活動を応援できる専門家（科学者）を配置すべき。 	<ul style="list-style-type: none"> ・こども科学館（仮称）は、高知市子ども科学図書館の取り組みを継続・発展させ、科学学習や科学体験の場を提供していくこととしています。このため、展示についても、そうした学習や体験につながるものを整備していく予定です。 ・運営に関しては、専門スタッフも配置し、関係機関とも連携しながら、取り組みを充実させていきます。
40	設計	科学館	<ul style="list-style-type: none"> ・バーチャル展示は、あまり期待しない方がよい。映像展示より実物（標本）を重視すべき。標本の貯蔵場所や管理をもっと重視してほしい。標本の貯蔵スペースが小さすぎる。また、標本の燻蒸や紫外線対策はどうするのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・映像展示は情報提供の即時性という面でメリットがありますが、一方で陳腐化しやすいというデメリットもありますので、実物（標本）展示との適切なバランスを考慮していく必要があると考えています。 ・標本を収蔵する収蔵庫については、全体の面積の制約があり、スペースを広げることは困難ですが、実施設計の中で什器等の工夫をしていきたいと考えています。 ・標本の管理については、収蔵庫の内装や空調を工夫するほか、効果的な紫外線対策を行うとともに、運営体制も含めて、適切な保存に努めていきたいと考えています。 ・なお、燻蒸については、燻蒸室の設置は困難ですが、外部への依頼など、様々な手法がありますので、専門家の助言もいただきながら対応していきたいと考えています。
41	設計	科学館	<ul style="list-style-type: none"> ・科学館の展示の構成について、展示スペースが狭いため、分野ごとに展示期間をずらしてはどうか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・展示スペースを有効に活用するため、子どもから大人まで楽しめる展示物をできる限りコンパクトに整備していきたいと考えています。 ・展示物は、固定式のものと同動式のものなどで構成することで、企画展の開催時に必要なスペースを確保できるようにしていく予定です。
42	設計	科学館	<ul style="list-style-type: none"> ・アドベンチャー・キューブの機能とプラネタリウムの機能が重なっているのではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・プラネタリウムは、星空学習やドーム状のスクリーンに投影する映像（全天周映画）を楽しむことができるものです。一方、アドベンチャー・キューブは、前方と左右の壁面、床面に投影する映像の中に、利用者自身が入っていくような擬似的な体験ができるものを想定しており、それぞれの機能が重複する形にはならないと考えています。
43	設計	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・中西繁氏が高知市に寄贈した絵を新図書館に置くとのことだが、どこに置くのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・絵のサイズ（横：約6.5m、縦：約2m）に見合った場所を検討中です。
44	運営	全体	<ul style="list-style-type: none"> ・閉館時間中に災害があった場合、逃げ込めることが可能か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・緊急避難場所（津波避難ビル）としても活用することとしていますので、閉館時間中も警備員が常駐して対応するなど、運営方法を工夫していきたいと考えています。
45	運営	駐車場	<ul style="list-style-type: none"> ・駐車場は有料になるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・複合施設の利用者は、一定時間は無料とし、それを超える分は有料とする予定です。
46	運営	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・学校では図書資料を使用した授業が増えているが、高知市内の学校への支援をどうしていくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・人的支援については、全体の運営体制について協議する中で、検討していきます。 ・資料については、2階書庫内に設ける「学校図書支援・団体支援」という場所に、学校図書館の担当者も入って選書していただけるようにします。
47	運営	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい図書館には、高齢者に対するケア的な役割を期待しているが、今までの図書館とはどんな違いがあるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新図書館の蔵書数は国内有数の規模になりますし、新たに、健康・安心情報サービスやビジネス・農業・産業支援サービスといった課題解決支援のコーナーなどを設け、利用者の問い合わせに対応していくようにします。
48	運営	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・これからの図書館は、弱い立場の者（高齢者、障害者など）に配慮した図書館として、ホスピス（ケア）的な役割を担ってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新図書館等複合施設整備基本計画に基づき、誰もが自由に行動でき、安全に過ごすことのできるユニバーサルデザインの考え方に沿った設計を進めています。 ・子どもから高齢者まで幅広い年代を対象に、それぞれが求める力と喜びをもたらす生涯学習施設にしていきたいと考えています。
49	運営	図書館	<ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館の市町村支援用の図書の購入予算はどれくらいになるのか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・県立図書館の年間の資料購入費は、現在、総額で7千万円程度ですが、市町村支援用を含めて1億円の確保を目指したいと考えています。

NO.	大分類	中分類	意見・質問の概要	事務局の考え方
50	運営	図書館	・カウンターが多数あるが、そこには複数の職員が配置されるのか。	・運営体制については、今後、具体的な人数等を県・市で協議していきます。
51	運営	図書館	・1階や2階のトイレは、日曜市の開催時やよさこい期間中なども一般に開放され、利用できるようになるか。	・日曜市が開催される日曜日は開館日ですので、ご利用は可能です。 ・よさこい祭り期間中の運営については、今後、検討していきます。
52	運営	図書館	・カテゴリー管理は工夫するのか。	・図書の分類法（日本十進分類法）を基本としながら、分かりやすい配列となるように工夫していきたいと考えています。
53	運営	図書館	・4階に集会室や研修室が計画されているが、図書館とは直接関わりのない近隣の商業・商店街関係者の利用は可能か。	・可能な範囲で一般への貸出しも想定していますが、利用時間や利用料金などを含めた運用方法については、今後、検討していきます。
54	運営	図書館	・以前、帯屋町にあった思春期相談センター「プリंक」のような機能を持たせてはどうか。	・図書館の職員が直接、悩みや相談の受け付けといった対応を行うことは困難ですが、各種の図書資料のご紹介や情報提供を行うことはできると考えています。
55	運営	図書館 科学館	・図書館及び科学館の開館時間はどうなるのか。夜も利用できるのか。	・新図書館については、現在の県市の図書館の開館時間よりも延長する方向で検討しています。 ・こども科学館（仮称）については、新図書館の開館時間の範囲内を基本に、他県の事例なども参考にしながら検討していきます。
56	運営	科学館	・展示物を見るだけではリピーターは来ない。体験コーナーや工作・実験コーナーが大切だ。これまで、子ども科学図書館で実施してきた親子教室や科学教室を開催できるような予算・人員配置を望む。	・子ども科学図書館の31年の実績を踏まえ、取り組みを継続・発展させていくことを基本としており、科学教室についても、定期的・継続的に開催できるよう、必要な予算・人員の確保に努めます。
57	運営	科学館	・科学館に持ち込む資料の防虫・防菌処理についての考え方を教えてほしい。	・館内に燻蒸室を設置することは困難ですが、外部への依頼など、様々な手法がありますので、専門家の助言もいただきながら対応していきたいと考えています。
58	運営	科学館	・現在の（子ども科学図書館の）活動が継続・発展できる施設となるようお願いする。	・子ども科学図書館の取り組みを充実・発展させることを基本としながら、新たな要素を加えていきたいと考えています。
59	運営	科学館	・科学館関係の様々な催し（サイエンスカフェや講演会のほか、近年各地で行われている多様な催し）に対応できるようにしてほしい。	・館内の企画展示スペースのほか、複合施設内にある強みを活かして、図書館の研修室（展示室）を活用するなど、催し物の規模に応じて柔軟に対応していきたいと考えています。
60	運営	科学館	・毎年行われている「小中学生科学展」は、どこで実施できるのか。	
61	運営	科学館	・高知市でこれまで開催されてきた小中学生の「科学発表会」「科学展覧会」が図書館内でできるよう、ホール・研修室などの施設の利用について便宜を図ってほしい。	

NO.	大分類	中分類	意見・質問の概要	事務局の考え方
62	運営	科学館	・「こども科学館」という名称で、幼児から高校生まで利用する、子どものための科学館となることを要望する。	
63	運営	科学館	・県内に唯一できる総合的な科学館として、子どもから大人まで楽しめるものとするため、(施設名は)「こども」を強調しないようなものにしてほしい。	<ul style="list-style-type: none"> ・名称に「こども」をつけるかどうかは、「必要」と「不要」両方のご意見を受けて検討しており、まだ、結論は出ていません。 ・高校生までの子どもを主としながらも、大人も楽しめる要素を加えていかなければならないと考えており、十分に検討したうえで、結論を出すようにしたいと思います。
64	運営	科学館	・発言者の中で、「科学館の名称は、子どもから大人までを対象にした『子ども』をつけない『科学館』に」という意見があったが、大人は自分の意志で県外の科学館に行けるが子どもは無理。また、現在の子ども科学図書館のリピーターは子どもであり、「こども科学館」とすべき。	
65	運営	科学館	・子どもだましではなく、大人もムキになって楽しめる科学館にしてほしい。「こども科学館」でなく本物の「科学館」を。	<ul style="list-style-type: none"> ・高校生までの子どもを主としながらも、大人も楽しみ、科学や自然に対する関心を喚起する科学館にしたいと考えています。
66	その他	その他	・今回の説明会は、中身の説明がなく分かりにくい。立体的にどうなるのか、参加者に納得してもらえるような説明の方法を考えるべき。	
67	その他	その他	・この設計図では分かりにくいので、市民が見てイメージできる方法で提示すべき。	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の外部や内部のイメージ図を増やすなど、分かりやすくなるように工夫します。
68	その他	その他	・南北の玄関のあり方について、平面図では分かりにくかった。	
69	その他	その他	・説明会はこの1回のみか。	<ul style="list-style-type: none"> ・高知市での基本設計に関する説明会は、今回のみとなります。
70	その他	その他	・市財政に好転の兆しが見え始めた時期に大きな借金をつくる計画には賛成できない。	<ul style="list-style-type: none"> ・有利な財源措置のある合併特例債や交付金を活用するなど、財政負担を最小限に抑える工夫をしていきます。
71	その他	その他	・これまで出たいろいろな意見は、ほとんど取り入れられていないのではないか。	<ul style="list-style-type: none"> ・基本構想検討委員会をはじめ、平成22年度に実施した図書館、点字図書館、科学館に関するフォーラムやパブリックコメントなどでいただいたご意見は、それぞれの段階で、可能な限り取り入れるようにしています。 ・基本設計では、災害への備えや避難所機能、障害者等への配慮、周辺の景観との調和など、いただいたご意見を踏まえながら、作業を進めています。
72	その他	その他	・年間の利用者の想定人数は。	<ul style="list-style-type: none"> ・施設全体で100万人を想定しています。
73	その他	その他	・公衆トイレをもう少し西側へ移動してはどうかと思う。	<ul style="list-style-type: none"> ・中心市街地全体の公衆トイレの配置バランスを考え、現在ある位置の近くに移設することとしています。

○四万十会場

NO.	大分類	中分類	意見・質問の概要	事務局の考え方
1	設計	全体	・（外観について、）ガラス張りで少し無機質な感じを受けた。高知県の木を使った暖かさのあるデザインを期待している。ルーバーを閉めたときのイメージも説明してもらいたい。	・外部は、壁面とガラス面とを適切に組み合わせていく予定です。 ・ルーバーは、固定式のを想定しています。
2	設計	全体	・外観について、足元からガラス張りだと、落ち着かないのではないかと。また、直接日光が当たると読書がしにくいので、もう少し壁の部分があっても良いのではないかと。 ガラス張りだと周りに威圧感を与えるので、周辺になじむような外観が良いのではないかと。	・外部には、壁面とガラス面とを適切に組み合わせるなど、落ち着ける環境となるように工夫していきたいと考えています。 ・北面の4階以上は南側に引いて（セットバックして）、日影や威圧感を減少させるなど、周りの景観との調和について検討しています。
3	設計	全体	・2階以上は、腰から下をガラス張りではなく板張りにしてもらいたい。女性は、外から見上げられたとき、足元が見えると気になる。	・外から見上げられたときにも気にならないように工夫します。
4	設計	全体	・年間利用者の想定が100万人で、上階に200人規模のホールやこども科学館があるのに、エレベーターが2基しかない。（遠足など）集団で利用する場合、一般の方が使えなくなるのではないかと。	・1階のエントランスロビーから2階や3階への移動は、多くの方がエスカレーターを利用されると想定しています。また、2階と3階の間には図書館専用のエレベーターや階段も設置することとしています。 ・4階（ホール、集会室等）や5階（こども科学館（仮称））への移動は、エレベーター（20人乗り）の利用を想定しており、2基合わせると短時間で40人の移動が可能ですので、施設全体では、各階への移動に必要な輸送能力を備えているものと考えています。
5	設計	全体	・建物の規模に対して多目的トイレの数が少ない。松葉づえの使用者にとっては、移動する距離が長く、利用しにくいので、設置数を増やしてほしい。	・多目的トイレは各フロアに設置するようにしています。全体のトイレの数は、来館者の想定人数を基に計画していますが、ご意見を踏まえて、形状等について検討します。
6	設計	全体	・太陽光パネルを設置するとのことで、エネルギー利用に期待する。県産材の利用も時代にマッチしている。	・自然エネルギーの利用や地場産材の活用など、環境に配慮した建物にしていきたいと考えています。
7	設計	駐車場	・障害者用の駐車場は、3台ではちょっと少ないのではと思う。	・駐車場全体の台数の関係から、障害者用を増やすことは困難ですが（法令では2台）、運用面で工夫できないか検討していきます。
8	設計	駐車場	・科学館を学校単位で利用する場合、バスで行くことになるが、バスの駐車はどうなるのか。 ・県民文化ホールなどに子どもたちをバスで連れて行くと、乗り降りのために周辺が混雑して危険を感じる時があるし、周りに迷惑をかけているという心苦しい思いもするので、考慮してもらいたい。	・建物の東側に、大型バス2台分の駐車スペースを確保することとしています。 ・事前に駐車のご予約をいただくことで、一定の調整は可能だと思いますが、不足する場合には、乗客を降ろした後、別の場所で待機していただくといった運用も考えていきます。
9	設計	図書館	・4階の学習室には、一人ひとりが勉強できる机を多く配置し、真ん中に複数で勉強できる机を置くべきではないかと。	・実際に配置する机の形状などは、今後、検討していきます。 なお、開架スペースには、一人用の研究個室（3階）、グループ用の学習室（2・3階）も複数設置するようにしています。
10	設計	図書館	・開架スペースは、書架の多さに比べて閲覧席が少ないのではないかと。	・閲覧席は、全体で400席以上を確保するようにしています。 なお、ご意見は参考にします。
11	設計	図書館	・新聞コーナーが3階になっているが、1階の方が利用しやすいのではないかと。	・1階のエントランスロビーは、スペースの制約があり、また、資料（新聞）の管理が必要ですので、2階の北側出入口の付近に当日新聞のコーナーを設置することとしています。 ・3階に設ける新聞コーナーには、バックナンバーや専門紙などをまとめて配置し、調査研究やレファレンスに活用しやすいようにしていきます。
12	設計	図書館	・高知市文化プラザかるぼーとの横山隆一記念まんが館のように、新図書館にマンガを置いてもらいたい。マンガコーナーには、大人の空間（閲覧場所や椅子等）も確保してもらいたい。	・新図書館では、横山隆一記念まんが館と適切に分担・連携しながら、高知県出身の漫画家の作品を中心に、マンガを収集したいと考えています。 なお、閲覧席は各所に配置するとともに、様々なタイプの座席をご用意する予定です。

NO.	大分類	中分類	意見・質問の概要	事務局の考え方
13	設計	図書館	・2階には、一般成人向けコーナーと児童コーナーの両方があるが、仕切りを設けたり、別室にするなど、何か工夫しているか。	・一般の開架スペースには、各所に静寂読書室を設けるといった工夫をしています。 ・児童コーナーの近くには、読み聞かせや学校のクラス単位で利用できる、音が漏れない構造のスペースを設けたいと考えています。
14	設計	図書館	・利用（読書）スペースについては、一般用と学生用の区分けを明確にしてほしい。 （学生が利用する場合、私語が多い。公共施設利用のマナーやルール等の指導も併せてお願いする。）	・静寂読書室を各フロアに設けるほか、グループ用の学習室や、集中して読書・学習をしたい方に活用していただける学習室なども設けるようにしていますので、落ち着いた環境を選んで、ご利用いただけるものと考えております。 ・他の利用者の迷惑となる場合には、スタッフが注意をいたします。
15	設計	図書館	・DVD映像を観る設備の配置が、現段階の計画に入っているか。	・3階のデジタル資料利用コーナーに、AV視聴用のブースを設置することとしています。
16	設計	図書館	・音楽鑑賞できるホールの設置は、検討していないか。	・音響設備を備えたホールを4階に設置することとしています。 なお、周辺には高知追手前高校の芸術ホールや県民文化ホール、高知市文化プラザかるぼーとなどの専門的な設備を備えたホールが多数ありますので、図書館のホールとして有効に活用できる程度の設備を考えています。
17	設計	図書館	・音楽資料（CD・DVD）の扱いは、どうなるのか。	・3階のデジタル資料利用コーナーでご利用いただけるように計画しています。
18	設計	図書館	・館内で閲覧した図書の返却について、どこかに返却口があるのか。それとも、自分で書棚に戻すのか。	・他県の図書館では、閲覧した図書を元の書架に戻さずに、各所に配置したブックトラックに置くことができるようにしている事例もありますので、そうしたことも参考にしながら、工夫したいと考えています。
19	設計	科学館	・他県の科学館へ子どもを連れて行ったとき、星のビックバンの映像を見て怖いと感じたと言われた。怖い感じのする展示にならないようにしてほしい。	・こども科学館（仮称）の展示の設計は、経験豊富な設計業者に委託し、また、日頃から子どもたちと接している子ども科学図書館のスタッフにもアドバイスをいただきながら進めていますが、ご指摘の点も踏まえて、検討していきたいと考えています。
20	運営	駐車場	・駐車場は有料か。	・複合施設の利用者は、一定時間は無料とし、それを超える分は有料とする予定です。
21	運営	駐車場	・施設の利用者と利用者以外の車をさび分けするような対策を考えているか。	・複合施設の利用者のみに限定することは難しいと思いますが、何らかの工夫をしていきたいと考えています。 ・一時的に満車になることも想定されますので、近隣の有料駐車場に施設内の駐車場と同じ条件（施設の利用者は一定時間は無料）で駐車していただけるような仕組みも検討しています。
22	運営	図書館	・（合築する）県市の図書館は、経営統合のような形になると思うが、具体的な役割や機能の分担について詰める作業はいつごろになるのか。	・平成27年度中の開館に向けて、基本構想や基本計画に掲げた県立図書館と市民図書館それぞれの役割や機能を踏まえ、考え方を整理しなければならないと考えています。
23	運営	図書館	・現在の県立図書館の市町村支援サービスは、新図書館になっても継続されるのか。	・現在のサービスが低下することは基本的にありません。 ・市町村の図書館や図書室に対する支援は、県立図書館の役割の大きな柱ですので、新図書館では、さらなる充実に努めていきます。
24	運営	図書館	・現在の（県立図書館の）物流システムは、本を借りる際にFAXでやり取りしており、アナログ的である。新図書館では、借りやすく、貸しやすいシステムにしてほしい。	・新図書館の情報システムでは、インターネットで協力貸出しの依頼ができるようにするなど、市町村の図書館や図書室にとっても便利な機能が付加できないか検討しています。
25	運営	図書館	・郡部からの図書館1日体験バスツアーといった利用者サービスを実施してはどうか。	・現時点では予定していませんが、県教育委員会の事業として取り組むことは可能ですので、開館に向けて検討していきます。
26	運営	図書館	・県立図書館の機能として、郡部から高知市までの（情報の）時間差をなるべく少なくするため、デジタル図書の貸出し等に十分対応した計画にしてもらいたい。デジタル化された図書の数はまだ少ないと思うが、何年か後には時間・距離を短縮できるようにしてもらいたい。	・デジタル図書の貸出しは、著作権法上の課題が多数あり、今、国や関係団体等で様々な検討がなされています。デジタル図書は、特に、遠隔地にお住まいの方や障害のある方にとって活用しやすいものと考えていますので、引き続き国等の動向を注視し、できることを検討していきます。

NO.	大分類	中分類	意見・質問の概要	事務局の考え方
27	運営	図書館	・実物の本に触れることができるのは、大切なことだと思う。	・できるだけ多くの県民・市民の皆様に来館していただけるような工夫をしていきます。
28	運営	図書館	・新図書館の2階と3階にレファレンスのデスクがあるが、そこに担当の方が常駐していれば、レファレンスサービスが受けやすく、とても良いと思う。	・繁閑に応じて必要な職員を配置するという形態になると思いますが、サービスの充実に努めていきます。
29	運営	図書館	・課題解決型のより良い図書館として運営していくため、県民・市民から意見を聞く場を設け、運営体制を整えてもらいたい。	・ご意見やお問い合わせなどは、常時受け付けていますので、県（新図書館整備課）又は高知市（新図書館建設室）のホームページにあるメールアドレスにお寄せください。
30	その他	全体	・建物の総合的な名称の案はあるのか。将来的なことを考えて、「情報館」といった名称にするのはどうか。	・複合施設の愛称については、今後、公募により決定する予定です。
31	その他	図書館	・現在の県立図書館と市民図書館の利用者数は何人か。	・県立図書館の年間の貸出冊数は15万冊程度で、平成22年度の入館者数は251,251人です。 ・市民図書館本館の年間の貸出冊数は348,112冊、登録者数は分館・分室等を含めて35,089人ですが、1年分の利用者数のデータはありません。
32	その他	科学館	・現在、高知市潮江にある子ども科学図書館はどうなるのか。	・新たに整備することも科学館（仮称）に移転することとなります。

○安芸会場

NO.	大分類	中分類	意見・質問の概要	事務局の考え方
1	設計	全体	・トイレは、各階に1箇所ぐらいでは少ないのではないかと。県内の公共施設はどこもトイレが少ないが、もっと充実させる考えはないか。	・来館者の想定人数に基づき、必要数を確保するようにしたいと考えています。
2	設計	全体	・滞在時に荷物を置くロッカーはあるのか。	・各階にコインロッカーを設置する予定です。
3	設計	全体	・喫茶コーナーは、落ち着けない場所にあるように思えるが、南側の遊歩道のほうにすれば、落ち着けるのではないかと。	・エントランスロビーをできるだけ広く確保するため、現案の位置を想定しています。
4	設計	全体	・非常用階段はどこにあるのか。	・エントランスロビーに入って左側（西側）に設置することとしています。
5	設計	駐車場	・ピロティの40台分の駐車場は津波が来たら車がダメになり、一方で、地下機械式駐車場の車は大丈夫らしいが、障害者用の駐車場はピロティだけなので、車は使えなくなるのか。	・1階ピロティの部分は、開口部が広いと、津波を防ぐことは難しいと考えています。
6	設計	図書館	・両館の本を合わせるとかなりの量になると思う。本は増えていくばかりだと思うが、開架スペースとは別に、書庫スペースは十分に確保しているのか。	・県立図書館と高知市民図書館本館の蔵書の合計は102万冊程度（平成23年3月31日現在）です。 ・新図書館の開架スペースは30万冊以上、書庫は開館30年後を見据えて、170万冊程度の収納が可能な計画としています。
7	設計	図書館	・本棚と本棚の間隔はどのくらいか。	・開架スペースの本棚（書架）の間隔（本棚の中心から中心まで）は1800mm、本棚は、主に奥行き220mm程度のものを2つ背中合わせにしたもの（複式）を想定しています。
8	設計	図書館	・ブックポストは東側（中の橋通り側）にもあるのか。	・東側（中の橋通り側）と西側（多目的広場側）の2カ所に設置することとしています。
9	設計	図書館	・図書館に親しみを持つ後援団体や応援団のようなグループが、活動拠点にできるスペースをつくれませんか。	・4階に設置予定のボランティア活動室を活用していただけるのではないかと考えています。
10	設計	図書館	・ティーンズコーナーについて、対象年齢を区切るのではなく、子どもから大人へとなだらかにつなげるような工夫ができないか。	・新図書館で新たに設置するティーンズコーナーは、全国の事例も参考に、新鮮な資料を揃えながら、柔軟に運営していくようにしたいと考えています。
11	設計	図書館	・図書館に对面音訳室が3室あるが、3名が同時に使うことができるのか。	・ご予約いただき、音訳者が確保できれば、3室同時に使用することも可能だと考えています。
12	設計	図書館	・児童コーナーの中にあるお話コーナーは、単なるオープンなスペースか。それとも、何か夢のあるものにするのか。	・お話コーナーは、開放的にしたり、閉じて音が漏れないようにすることもできるよ、いろいろな使い方について検討しています。
13	設計	図書館	・アメリカでは、電子書籍の普及が著しいと聞く。今後、日本にも電子化時代がやってくると考えられる。そうすると、図書館のあり方も異なってくるだろうが、そのことを考慮して設計しているか。	・デジタル図書の貸出しは、著作権法上の課題が多数あり、今、国や関係団体等で様々な検討がなされています。デジタル図書は、特に、遠隔地にお住まいの方や障害のある方にとって活用しやすいものと考えていますので、引き続き国等の動向を注視し、できることを検討していきます。 ・県立図書館・高知市民図書館しか所蔵していない資料のうち、著作権やプライバシーの観点で問題のないものは、国立国会図書館などの全国の図書館・文書館等のデジタル化計画とも協調して、順次、デジタル化を進めていきたいと考えています。 ・そうしたデジタル化の進展も視野に入れ、ハイブリッド型図書館（紙媒体と電子媒体の双方を提供する機能を持つ図書館）を想定して設計を進めています。 なお、3階には、デジタル資料利用コーナーとデジタル工房を設けることとしています。
14	設計	科学館	・子ども科学館のアドベンチャー・キューブは、どの位置に置くのか。	・アドベンチャー・キューブは固定式の展示になりますので、企画展の開催時などに支障がない位置に設置したいと考えています。

NO.	大分類	中分類	意見・質問の概要	事務局の考え方
15	設計	科学館	・（図面上で）科学館の上の楕円形の部分は何か。	・展示室の上部で、いろいろな展示物を設置できるように、天井を高くしています。
16	運営	駐車場	・駐車場は無料だと考えていたが、有料にするのか。	・複合施設の利用者は、一定時間は無料とし、それを超える分は有料とする予定です。
17	運営	図書館	・現在、県立図書館と市民図書館の役割が異なっているが、両図書館が一つになることで支障が生じることはないのか。	・基本的に、現在実施しているサービスは低下させることなく、新しい図書館として、より充実させていきたいと考えています。
18	運営	図書館	・新図書館の館長と内部組織も、県と市を合わせて一つにし、市町村支援のセクションを設けてほしい。	・新図書館には、県と市の二つの組織を置くこととなりますが、利用者の皆様からは、一つの図書館に見えるような形で運営していきます。 ・市町村支援は、県立図書館の重要な機能ですので、専任の司書を配置し、より充実したサービスを提供していくようにしたいと考えています。
19	運営	図書館	・図書館の（受付・貸出等の）カウンターは、県と市でどのようになるのか。	・新図書館は、利用者の皆様から見ますと、県・市の区分のない一つの図書館として運営しますので、県・市の区分のないカウンターになります。
20	運営	図書館	・カウンターに行って本の名前を言えば、自動的に本が出てくるシステムになっているのか。それとも自分で探しに行く、あるいは、司書が探しに行くことになるのか。	・自動化書庫は導入しませんので、人が取りに行くこととなりますが、コンピュータで調べれば、本がどこにあるのかが分かるようにする予定です。 ・基本的に、開架スペースに出ている本は利用者が、書庫の本はスタッフが取りに行くこととなります。 ・新図書館では、調査研究の支援を強化するために、レファレンス・カウンターを設置し、必要な資料を探す際のご案内をいたします。
21	運営	図書館	・司書が本を取りに行った時、カウンターのところで待ってなければいけないのか。それとも、他に座る場所があって、そこで待っていれば持って来てくれるのか。	・ご要望の本がカウンターに届いたことをお知らせする方法について、検討していきます。
22	運営	図書館	・これまでの物流システムによる本の貸出しや返却のシステムに変更はあるのか。	・物流については、現在、週2日の配送ですが、新図書館の開館後は、開館日は毎日配送するようになります。また、市町村の図書館や図書室への協力貸出しは、現在、FAXで受け付けていますが、新図書館では情報システムも活用できる形を検討中です。
23	運営	図書館	・高知市民図書館の分館・分室と他市町村の図書館を同じ扱いにすればよいのではないか。	・高知市民図書館の分館・分室は市民図書館全体の組織の一部ですが、他市町村の図書館は県立図書館及び高知市民図書館とは別の組織ですので、同じ扱いにすることは困難です。
24	その他	図書館	・運営も含めて、利用しやすい図書館、安全な図書館など、良い図書館となるようにお願いしたい。	・県民・市民の皆様が大いに利用していただける図書館となるように、工夫していきます。
25	その他	図書館	・イメージ図を見て期待している。敷居が高くなく、いろいろな人が利用できる図書館にしていきたい。	・新図書館は、敷居が低く、親しまれる図書館にしたいと考えており、今後、より一層の工夫をしていきます。 ・また、遊歩道や多目的広場と併せて、様々な人が集まり、利用していただけるような図書館にしていきたいと考えています。
26	その他	その他	・中の橋通りと追手筋の交差点の南西部分にあった公衆トイレは、なくなるのか。	・現在のものは撤去し、複合施設の北側に新たに設置する予定です。